



きくがおか

北九州市立企救丘小学校 校長 花田 桂子
 TEL(093)962-0414
 HP : <http://www.kita9.ed.jp/kikugaoka-e/>

きくがおかのやくそく

- ① きもちのよいあいさつ
- ② くじけずに最後まで
- ③ がんばってそうじ
- ④ おもいやりのある言葉
- ⑤ かんしゃの気持ち

学校アンケートの結果をお知らせします。ご協力ありがとうございました。

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自己のよさが発揮でき、
一人一人が生き生きと輝く子どもを育成する。



- 【重点目標1】 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を推進する。
- 【重点目標2】 健康で安全・安心な学校づくりを推進する。
- 【重点目標3】 家庭・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。

本年度は、質問項目⑦⑧を付加しました。本年度は、⑦⑧を除く項目の平均値は、昨年度とほぼ同じ数値でしたが、⑦と⑧については、全体的に低い数値でした。

4:そう思う 2:あまりそう思わない	3:だいたいそう思う 1:そう思わない	平均		R5(内訳) 回答:258枚			
				4	3	2	1
学校教育目標のめざす児童像について		R 5	R 4				
①礼儀正しく、思いやりのある子どもが育っている		3.4	3.4	38%	61%	1%	0%
②進んで学び、よく考える子どもが育っている。		3.3	3.2	30%	67%	3%	0%
③元気で明るく、たくましい子どもが育っている。		3.4	3.5	42%	57%	1%	0%
お子さまの様子について							
④あいさつをよくする。		3.2	3.3	37%	51%	11%	1%
⑤時間やきまりを守って生活している。		3.2	3.3	31%	58%	10%	1%
⑥学習したことがよく分かっている。		3.6	3.2	26%	62%	12%	0%
⑦家庭で絵本や小説などの読書をしている。		2.6	—	26%	23%	38%	13%
⑧家庭(学童)で宿題や自学など自分に必要な学習を自分で計画を立てて行っている。		2.9	—	30%	42%	24%	4%
学校について							
⑨子どものことについて、相談に適切に応じている。		3.5	3.5	53%	43%	3%	1%
⑩子どもをほめたり、励ましたりして子どもを認めている。		3.6	3.6	61%	37%	2%	0%
⑪家庭への連絡(情報提供)を積極的に行っている。		3.5	3.4	58%	38%	3%	1%
⑫子どもの安全確保に努力している。		3.6	3.5	63%	35%	1%	1%
⑬学校は、地域の方々と協力しながら教育している。		3.6	3.6	60%	38%	2%	0%
全体		3.3	3.4				

- ⑦⑧について、学力学習状況調査において「読書」と「家庭学習を自ら計画を立てて行うこと」に関する部分で課題が明らかになり、本年度、学校では重点的に取り組みました。
- ⑦については、ブックヘルパーの皆様にもご協力いただき、図書館の開館時間を増やして、子どもが本と触れ合えるよう取り組みました。また、隙間時間や朝自習にも、貸出や返却を行うようにしました。来年度も読書環境を整えるとともに、図書委員会などの活動を通じて、本の魅力を発信できるように工夫します。
- ⑧については、主に、各学年で年度当初に自学ノートの使い方を示して、年間を通じて取り組みました。漢字や計算などの基礎・基本を繰り返し取り組む自学ノート、個性豊かに自分の調べたいことや気になったことをまとめた自学ノートなど、参考になる自学ノートを掲示して、自学の方法を知らせるようになりました。そうすることで、自分の学習したいことを明確にし、計画して取り組むことができると考えます。自学ノートは、思考をつくるうえでも大切な取組です。引き続き指導してまいります。
- 英語教育リーディングスクールとして、年間を通して、全学年で学級担任とALTが協力して外国語の学習に取り組みました。本校の取組は、全市の中でも先行して行っているものです。本年度も、子どもが自分の考えを英語で伝える楽しさを味わう姿を、全学年でみることができました。
- 年間を通して「あいさつ運動」や「ありがとう・ぼかぼかの木」に取り組みました。朝の兄弟学級協同の挨拶運土や、給食時間の人権委員会の放送など、子どもが意識しながら活動できるように工夫しました。
- 5,6年の一部教科担任制は、一つの学級に多くの教職員が関わって学習活動を進めることができました。本年度は、志徳中学校と志井小学校との連携にも取り組みました。また、ICTを活用した個別最適な学びに取り組んでおり、学習時間以外でも自らタブレット端末を開いて学習する子どもも多く見られます。
- 3学期の体力週間では、休み時間の終わり5分間、寒さに負けず、自分のペースで運動場を走ったり、縄跳びをしたりしました。3学期は外で遊ぶ子どもが多くなりました。
- 各学級の支援については、特別支援教育の視点に立った支援の充実のため、学級の垣根を超え、担任、同学年、養護教諭、担任外教職員が一つのチームになって話し合いをもち、一人一人に合った支援について話し合う機会を多くもちました。全職員で子どもと関わり支援しました。
- わかば会をはじめ、地域の方や保護者の皆様には、挨拶や声掛けを積極的に行っていただきました。ありがとうございました。